

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

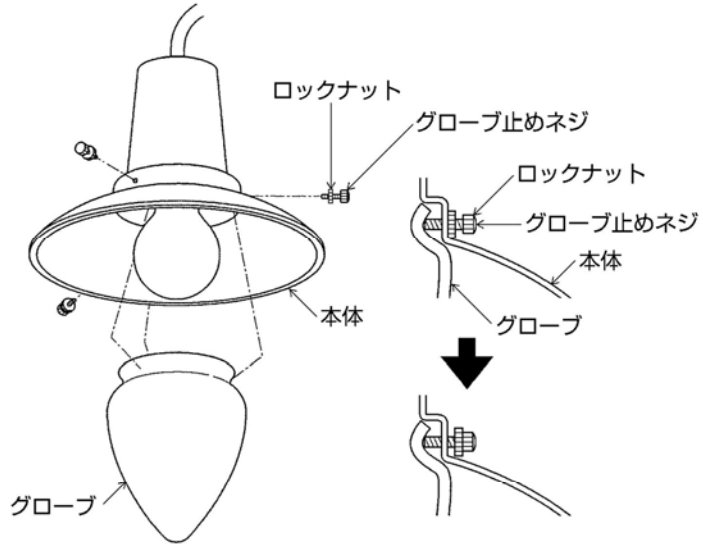
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため
触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 グローブを外す

グローブを支えながらロックナットをゆるめ、グローブ止めネジをゆるめて取外す。



■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

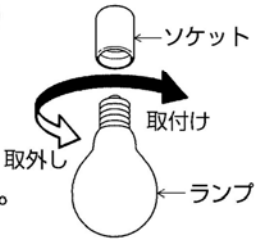
3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に
行なってください。

破損・落下によるけがの原因に
なります。

※白熱ランプは使用できません。



5 グローブを取付ける

■施工手順6を参考にグローブを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型 番 AU50362・AU50364

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警 告				この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に 行ってください。→器具の取付けに不備 があると火災・感電・落下によるけがの 原因になります。	禁止	器具やランプを布や紙などでおおって 使用しないでください。→火災の原因に なります。	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製 のものを ご使用ください。→樹脂製ボックスの 場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化 が促進され火災・落下によるけがの 原因になります。	
禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風 呂などの 高温多湿な場所では使用できません。→ 火災・感電の原因になります。	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	
禁止	この器具は耐塩仕様ではありません。 塩害が発 生する可能性のある地域では使用しな いであ ください。→早期に錆、腐食などが生じ 、落下 によるけが・感電・故障の原因になりま す。	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	
禁止	このような場所には取付けないであ ください。 この器具は壁取付専用器具です。天井・ 傾斜天井 などには取付けできません。不安定な 場所や ベニヤ板などの強度の弱い場所、使用 後のネ ジ穴には取付けないであ ください。→火災・感電・落下によるけ がの 原因になります。	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更 して使 用し ないであ ください。→火災・感電・落下によるけ がの 原因になります。	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を 差し込 まないであ ください。→感電・故障の原因になりま す。	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	アース端子(線)がついている器具は必 ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース) 工事を 行なってください。→アースが不完全な 場合、感 電の原因になります。	

⚠ 注 意				この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高 温のため 触らないであ ください。→やけどの原因になります。	禁止	ガス機器など、温度が高くなるもの の上への 取付けや、器具の下にストーブなど の高温 のものを置かないであ ください。また、燃えやすいものを 近づけ て使用し ないであ ください。→火災の原因になります。	照明器具の寿命は、使用条件、使用 環境で 異なりますが、一般的な使用状態で 8～10 年が目安です。数年に1回は、専門 家(工 事店・電 器店)に よる点 検を実 施して いただき 、不具 合があ りまし たら適 切な処 置を施 してく ださい。 →放置 すると 、火災 ・感電 ・落下 ・故障 の原因 になり ます。	
禁止	ライトコントロールなどの調光器と の併用は できません。→火災の原因になりま す。調 光器の 取外し が必要 です。調 光器の 取外し には資 格が必 要です。 工事店 ・電器 店に依 頼して くださ い。	厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用 環境で 異なりますが、一般的な使用状態で 8～10 年が目安です。数年に1回は、専門 家(工 事店・電 器店)に よる点 検を実 施して いただき 、不具 合があ りまし たら適 切な処 置を施 してく ださい。 →放置 すると 、火災 ・感電 ・落下 ・故障 の原因 になり ます。		

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。	
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。	
※This warranty is valid only in Japan.			
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球:3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
お買上年月日			
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU50362・AU50364	AC100V	0.04A	2.1W	LDA2-G-FCK(E26)×1

■施工前の確認

- 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
- 2 取付面が十分乾燥していることを確認する
器具や取付面の変色の原因になります。
- 3 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合
器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する。
- 4 コーキングする場合
水抜き穴をふさがない。
浸水による感電の原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

〈付属部品〉

取付ネジ・・・・・・・・・・2本

1 本体より取付金具を取外す
パッキン付袋ナットを取外し、本体より取付金具を取外す。

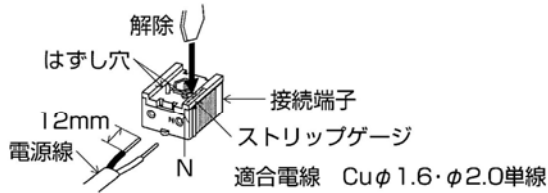
2 取付金具を取付ける
ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、方向シールの指示に従って取付ネジで取付ける。
※プッシングのついてある穴で取付けてください。
△警告 方向シールに従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電の原因になります。

3 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバを差し込み、電源線を抜く。

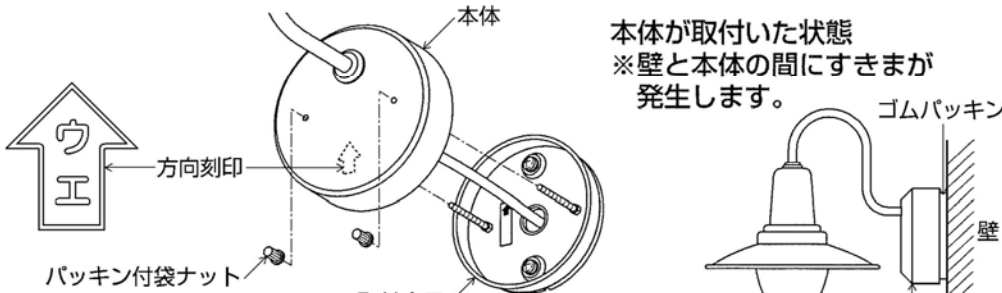
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



4 本体を取付ける

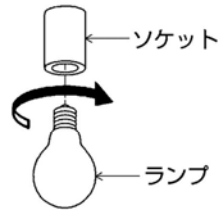
本体を方向刻印の指示に従って取付金具に合わせ、パッキン付袋ナットで取付ける。



△警告 方向刻印に従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電の原因になります。

5 ランプを取付ける

△警告 電球はガラス製品のため、ものをぶついたり無理な力をくわえたりしないでください。
破損・落下によるけがの原因になります。

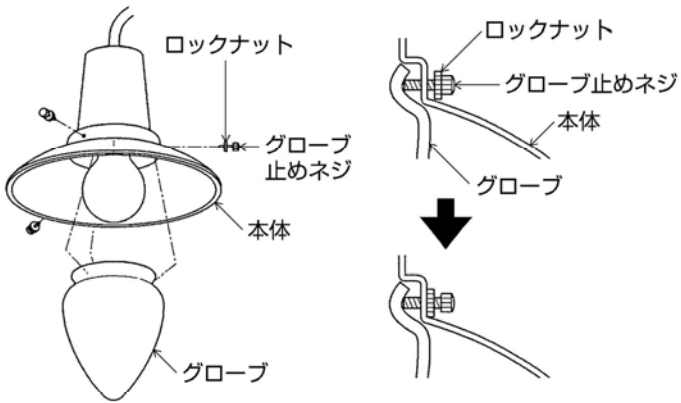


6 グローブを取付ける

- ①グローブ止めネジのロックナットが十分にグローブ止めネジの頭方向に寄っていることを確認する。
- ②グローブを本体にはめ込み、グローブ止めネジで締め付ける。
- ③グローブを固定してからロックナットを確実に締め付ける。

※工具などで締め付けしないでください。

※グローブの位置が偏らないように、グローブ止めネジを均等に締め付けてください。



！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は5個までとしてください。壁スイッチを6個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

■ランプ使用上のご注意

- LED光源寿命(光束維持時間)は、20,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。
- 破損した状態で使用しないでください。